

2011 アートマイル 報告書

日本学校名 [Sherry's 英語教室] 担当教諭名 [塩飽 隆子] (高校 1・2年生 9 名)
 交流相手国 [東エルサレム]
 海外学校名 [Beit Safafa High School] 担当教諭名 [Hanan Abu Dalu]

■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した時間 総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように。 必要に応じて行を追加して ください。	英語	異質なものに出会って、自分を見つめなおそう	20

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	異文化の調和 「ふたつの民族を象徴する木～オリーブと桜」
絵に込めたメッセージ 作品展示の際に掲載 することがあります。	「異文化理解・相互理解・相手へのリスペクト」 お互いの文化を紹介し合っているうちに、それぞれに国の象徴となっている木があることを知った。エルサレムの人々にとって食物であり、葉であり、日用品であり、そして収入の糧であるオリーブの木と、日本を象徴する木であり、地元赤穂市の木であり、市内のいたるところで春爛漫に咲いて人々が愛してやまない桜の木をテーマにした。それぞれの民族の象徴であるオリーブの木と桜の木を絡ませることで、まったく異なる二つの文化が調和して存在し、人々がお互いを尊重し、友人となり、仲良く暮らしている様子を描いた。

半分描いた絵と完成作品の画像を貼付してください。 ※Web 公開しますので児童の顔などの扱いにご注意ください。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・東エルサレムの歴史背景を調べ、世界にはさまざまな権威や宗教などの制約の中で今を生きている人々がいることを知った。 ・同世代の高校生と率直な意見交換をすることで相互理解を深めることができた。 ・語学力が高い相手から英語を身につける必要性を実感した。 	英語力を上げることで必ずしもコミュニケーション力は上がらない。自分の意見を持つことが大切。そのためには日ごろからものを考えないといけない。生徒に自分のことや周りのことを日ごろから考えるように、そして自分なりの意見を持つように言葉をかけたい。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
調べ学習の様子、テレビ会議の様子、絵を描いている様子など活動全体を通して他の学年の生徒たちにも紹介した。	他の学年の生徒たちも大変関心を示し、疑似体験をしているようだった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	9月	・自己紹介(自分を知らせてもらう) ・相手の学校生活・家庭生活についてQ&A(相手を知る)	・英語で自己紹介することには慣れているので困らなかった。・相手については、エルサレムの高校生がどんな暮らしをしているのか全く想像ができなかったため、Q&A形式で教えてもらって様子を知ることができた。	英語
情報収集	10月	・東エルサレム、パレスチナについて調べる。相手にも聞く。 ・自分たちの町の伝統・文化・自然についてまとめて、伝える。	・東エルサレム、パレスチナについてはネットや本で調べるよりも直接相手から聞いた話の方がずっと分かる気がしたようだ。	英語
テーマ検討	11月	・絵のテーマをフォーラムで話し合う。 ・[テレビ会議]直接テーマについて話し合う。絵の構図、どう半分に分けるのか、何を描くのかについて相談。	・絵のテーマについては、お互いの文化や生活の紹介をする過程で、「お互いの民族の象徴となっている木で私たちの友情を表現しよう」というアイデアが出てきた。 ・テレビ会議で日本側が斜め半分の構図にして上半分を描きたいと提案したが、相手の高校生は「それは上下関係になって平等じゃない」と反対した。そして左右縦半分で合意した。日本の生徒はパレスチナの高校生が「平等」ということにこだわっている	英語
制作	12月	・絵を描く	週末の2日で絵を仕上げた。描く場所の分担を生徒が相談をして決め、全体の調和を考えながら一斉に描いた。	課外活動
鑑賞	3月	・絵が日本に戻ってからテレビ会議で相手と共同鑑賞	テレビ会議でお互いの顔を見ながら、それぞれが絵を描いた感想や相手の絵を見た感想を言い合った。	英語

■学習目標と成果はどうでしょうか？

「重視」には指導にあたって重視した順位を数字で記入してください。

「先生の手応え」の評価 (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:まったく関連がなかった)

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解	2	5・④・3・2・1	地元の文化を英語で海外に紹介することには慣れているが今回は地元の桜について再認識した。
異文化の理解	1	⑤・4・3・2・1	相手が東エルサレムのパレスチナ人だったので少しでも相手を分かりたいという気持ちが強かった。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	3	5・④・3・2・1	フォーラムでのコミュニケーションは積極的にできたが、テレビ会議での応答にはまだ不十分。
情報活用能力(情報収集・発信)	5	5・④・3・2・1	東エルサレムという地域やパレスチナ人についての情報収集に生徒は苦労していた
人間関係をつくる(学級内・交流相手)	6	⑤・4・3・2・1	特に相手との信頼関係をテレビ会議を通して深めることができた
協働する力(役割分担・協力)	7	⑤・4・3・2・1	グループごとに役割分担をして学習活動を行うことができた
学習を追究する意欲	4	⑤・4・3・2・1	生徒にとって今まで考えたこともなかった相手だったので常にもっと知りたいという気持ちがあった
表現力(伝えたいことを絵で表す)	8	5・④・3・2・1	自分たちの象徴である桜の木をしっかりと描いてその美しさを表現できた
作品を鑑賞する力	9	⑤・4・3・2・1	テレビ会議で相手と一緒に鑑賞し、感想をしっかりと言えた